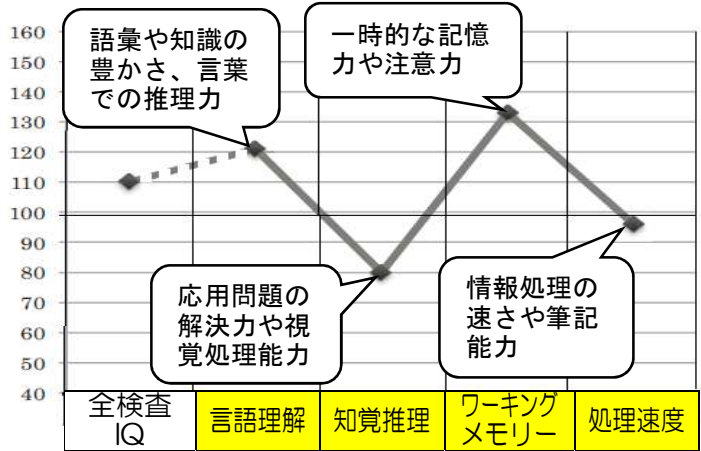


WISC-IV検査結果の活用例

「き」記録された検査結果を生かす



上のグラフは、ある生徒の WISC-IV 検査の全検査 IQ と「言語理解」などの4つの指標得点を示しています。

この生徒は「言語理解」と「ワーキングメモリー」が高く、「知覚推理」と「処理速度」が低いことから、聴覚処理が優位なタイプであると考えられます。(※いろはカルタ「に」継次処理タイプを参照)

この検査結果に日常の行動観察を照らし合わせて支援方法を想定します。

[低い指標のみに焦点をあてて・・・]

- 目標や問題解決の手順を明示する。
- 板書より学習プリントを活用する。

[高い指標を加えて生かして・・・]

- 図示する時、その特徴を説明する。